



防府市

かわまち歩きMAPを一緒につくろう!

参加無料

ワークショップ開催

小学生以上のお子様も大歓迎!

整備されている佐波川を中心としたまちづくり!
新橋地区は佐波川の自然と萩往還等の歴史・文化資産に囲まれています。
点在している観光資源を活かすためのまち歩きMAPを一緒に作成しましょう。
佐波川と歴史風情の残る地区とをつなげて、
佐波川を活かしたまちづくりを目指します。

実施日 **2018/8/9 木・23 木**

定員 **20名** ※先着順

対象 **防府市のまちづくりに関わり、
防府市をもっといいまちにしていきたい方。
小学生以上のお子様も大歓迎!**

※小学生以上が対象
※12歳以下のお子様は、保護者の同伴が必須
※雨天の場合は一部内容が変更

8/9 木 9:00~12:00

集合場所 **防府市まちなかの駅
うめてらす (会議室)**

対象エリアのまち歩きを行うため、
歩きやすい服装での参加をお願いします。

当日の流れ **説明 ▶ 街歩き ▶ ワークショップ**

8/23 木 14:00~16:00

集合場所 **市内カフェスペース**
(詳細の場所は参加者へ連絡)

当日の流れ **説明 ▶ ワークショップ**

主催

防府市 河川港湾課

運営・お問い合わせ

特定非営利活動法人まちなかの情報発信局

申込方法

締切 **8/7 火** ※定員に達し次第終了

①お電話から ※平日10:00-18:00

0835-28-8916 (担当 金田・白松)
特定非営利活動法人まちなかの情報発信局

②インターネットから

<http://buti-hofu.com/>

ぶち防府 検索

イベントページの
申込フォームより



対象エリア

※オレンジ色とその周辺が対象エリアです



防府総合用水の円筒分水工

防府総合用水の歴史

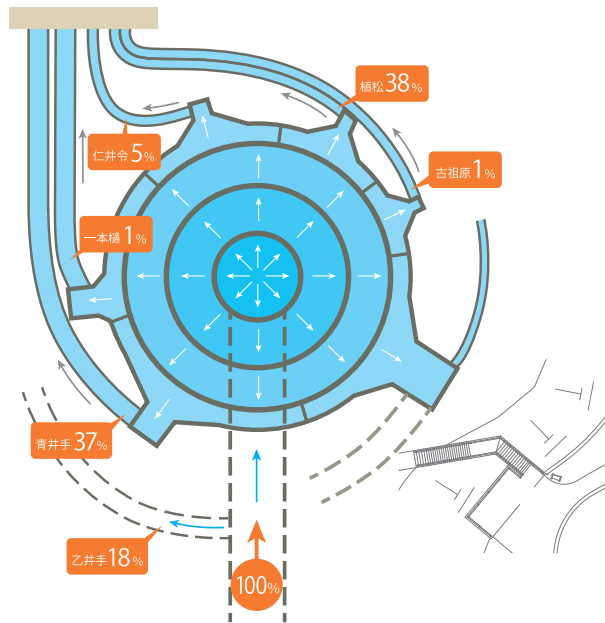
佐波川は「人が死ななければ梅雨が明けない」と言われるほどの暴れ川で、毎年必ず死者を出していましたが、防府総合用水の整備、上流ダム建設により、洪水による死者を出すことはなくなりました。

防府総合用水は、佐波川に架かる4ヶ所の堰を統合する取水施設として、昭和26年から昭和33年までの8年間で施工されました。そこには、現存する中では日本一の大きさである「円筒分水工」も作られました。

円筒分水工とは

野菜や米などを作るためには水が必要です。昔から限られた水を求めて争いが絶えませんでした。このため、悩まされてきた水問題を、その源から抜本的に改め、より正確に分配するために考案された施設が「円筒分水工」です。円筒分水工は、円筒の中心から水を吹き出させ、円筒の周囲に設けた仕切りの間隔(各地域の耕作面積)によって、公平に水を供給する仕組みとなっています。また、この円筒分水工の直径は、現存する中では『日本一の規模』を誇ります。

分水工平面図



分水工断面図

